

SONORA NX

環境・BCP対策に 最適

株式会社中日新聞社



様々な生産設備との適性を検証した印刷テストを完璧クリア。新聞印刷向け完全無処理 CTP プレート SONORA NX のすぐれた耐刷性と機上現像性、印刷品質、作業性を高く評価して導入を決断。

創業 130 年以上の歴史を誇る 日本最大の地方新聞社

株式会社中日新聞社は、中日新聞、東京新聞、北陸中日新聞、日刊県民福井の日刊 4 紙とスポーツ 2 紙（中日スポーツ、東京中日スポーツ）、週刊 1 紙（中日こどもウイークリー）を発行する日本最大の地方新聞社である。日刊 4 紙の発行部数は約 300 万部で、購読者は首都圏・中部圏など 1 都 15 県にも及ぶ。中日ドラゴンズやナゴヤドームなど関連企業・団体も数多く、中部圏における文化の担い手でもある。印刷拠点は名古屋本社のほか、中部、北陸、東海、関東エリアに 8 カ所を擁し、合計 25 ラインの CTP が日々発行される新聞印刷の製版業

「SONORA NX はトラブルのない安定した品質・出力で、しかも柔軟性と強靭性を兼ね備えた理想的な刷版です」

務を支えている。同社ではコスト削減・環境対応を考慮し、2015 年 4 月から CTP の更新にあわせて順次、現像処理工程が不要な無処理版の採用を進めてきた。資材調達は BCP（事業継続計画）の観点から複数社が基本だが、当時、新聞印刷向け無処理版の選択肢は少なく、1 社調達を余儀なくされていた。



技術局 印刷部 部長 細江 孝徳 氏



技術局 印刷技術部 古池 政文 氏



日刊 4 紙の発行部数は約 300 万部



現像工程が不要な 2 台の CTP を設備



中日新聞本社地下の印刷工場



リリース前のフィールドテストで SONORA NX の性能を高く評価

同社がコダックの新聞印刷向け完全無処理 CTP プレート KODAK SONORA NX に関心を持ったのは 2016 年 9 月のこと。DIC グラフィックス (株) を窓口、コダックから開発状況の説明とフィールドテストへの協力依頼を受けたのが最初だった。長年にわたりコダックの有処理版を使い続け、高い信頼を寄せていた同社にとって、この依頼は願ってもないものだった。新たにコダックの無処理版を使えるようになれば、「メーカー間の競争が生まれ、性能向上とコスト削減効果が期待できる」「BCP 対策も万全になる」と、同社はこの申し出を快諾した。そして 2017 年 8 月、順調に開発が進んだ SONORA NX の印刷テストを豊田工場 (豊田市) で初めて実施した。結果は良好で、その後も辻町工場 (名古屋市) や都田工場 (浜松市)、名古屋本社などで繰り返し印刷テストを行った。その経緯について、技術局 印刷技術部の古池政文氏は次のように話している。

「新聞印刷で使用する刷版には、まず第一に耐刷性が求められます。このため豊田工場ではサンデー版・見開き 1 頁分のテスト (11.5 万 imp.) で様子を見て、次に全 8 頁の印刷 (11.5 万 imp.) で耐刷性能を確認しました。その後は辻町工場ではサンデー版 (14.5 万 imp.) を刷るなど工場ごとに異なる印刷設備との適性などを検証しました。都田工場では版胴が 1 頁周長の 4×1 と呼ばれる最新鋭機でのテストも行いましたが、全く問題はありませんでした」

耐刷性、印刷品質、機上現像性、作業性、さらには CTP や輪転機、刷版搬送装置といった様々な生産設備との適性をチェックするため、SONORA NX のテストは半年以上に及んだが、その結果は期待を大きく上回るものだった。そして 2018 年 4 月、名古屋本社での実運用がスタートした。

月平均 8,400 版の SONORA NX を安定出力

SONORA NX は実運用でも抜群の安定性を発揮した。出力版数は月平均 8,400 枚 (2L1W 換算) を超えるハードな運用にも関わらず、トラブルのない安定品質・安定出力を実現した。そのメリットについて古池氏は次のように指摘する。

「本社工場では 4 銘柄・3 セット輪転機に 2 台の CTP で対応しているため、何かトラブルがあるともう 1 台に大きな負荷がかかってしまいます。その点、SONORA NX は出力からベンダー、搬送までとても安定しているので、本当に助かっています。他社版との合掛けもテスト済みなので、万一の緊急事態にも余裕を持って対応できるでしょう」

合掛けだけでなく、4 色分解版の一部を SONORA NX に差し替えた場合でも、色ズレなどもなく安心して刷れたという。こうした緊急事態を想定した様々なテストの積み重ねが、実運用での安心と安定につながっている。技術局 印刷部 部長の細江孝徳氏は、SONORA NX の作業性を高く評価している。

「他社版と比べて刷版が柔らかく、版胴への装着感、密着性にすぐれています。しっかりとグリップできるので自動搬送装置から脱落する心配もありません。また従来の無処理版と比べて絵柄がよく見えるので、取扱いが簡単だと現場のオペレータは喜んでます」

当初は版伸びや耐刷性を心配する声もあったが、実際に使ってみると SONORA NX は柔軟性と強靱性を兼ね備えた理想的な刷版だという。印刷品質についても「他社版はもちろん、従来の有処理版と比べても遜色ない」「文字つきがシャープ」「水が絞れる」「インキの載りが良い」と高評価だ。

合紙レスの印刷テストにもチャレンジ

安定品質・安定出力を実現する一方で、SONORA NX の新たな課題も浮かび上がってきた。同社のように出力版数が多いと、合紙がすぐに溜まってエラーで CTP が止まりかねない。それだけではない。湿気や静電気など環境変化による出力トラブルも心配だ。もし「合紙レス」が実現できれば、CTP の合紙取り機構も不要になり安定性はさらに高まるだろう。コダックではこの問題にもいち早く取り組んでいて、同社では 6 月末からテストを開始する予定とのこと。現場の意見に耳を傾け、開発部門に素早くフィードバックするコダックのサポート体制が、ニーズを先取りしたソリューション提案につながっているのだ。日本で初めて KODAK PROSPER ヘッドによる新聞ハイブリッド印刷を導入するなど、つねに積極的な設備導入を続けている同社の挑戦を、コダックの確かな技術が支えている。



株式会社中日新聞社

代表取締役会長：白井 文吾

代表取締役社長：大島 宇一郎

〒460-8511 名古屋市中区三の丸一丁目 6 番 1 号

TEL : 052-201-8811

<http://www.chunichi.co.jp/>

この印刷物は、KODAK SONORA プロセスフリープレートを使用して印刷しています。

コダック 合同会社

<http://www.kodak.co.jp>

〒140-0002 東京都品川区東品川4-10-13 TEL.03-6837-7285 (営業代表)

大阪：050-3819-1266 名古屋：050-3819-1265 福岡：050-3819-1270

仙台：050-3819-1255 札幌：050-3819-1250 金沢：076-200-9583

製品のお問い合わせ先 JP-GCG-products@kodak.com

2018-06

